



美術解剖学講座

in KAGOSHIMA

「男女の性差」

2018年7月16日（祝月）

会場：かごしま県民交流センター 5階
絵画制作室

モデル：海斗、AYAME



【なぜ、美術解剖学が必要なのでしょうか?!】

世の中には沢山の美術解剖学書があります。多くの方がそれを買って勉強しようとしています。けれど、体の構造の事を本で知ったからと言ってそれで自由に人を描けるようにはなりません。理由は二つ、

- ①本に書いてある人体は死体から描き起こしたもので、眼の前にいる生体が動くともうわからなくなる。
- ②何を観ていいのかわからなくなり、輪郭線を追うだけで精一杯になる。

知らないものは見えないのであり、見えてないものは描けないのです。

【何をどう見たらいいのか】これをマスターすれば分かるようになります。そのためには【正しく知る】ことが第一歩です。

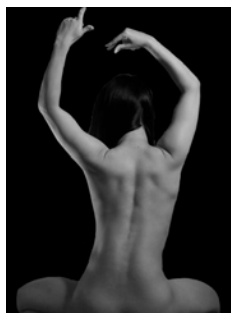
京都、大阪、名古屋、東京で『美術解剖学講座』を持っている、美術解剖学モデル海斗が鹿児島で2回目の講座を開きます。今回のお題は【性差】。当たり前前に違う生殖器以外には、男女は根源的に何がどう違うのか。生身のモデルを目の前にして系統的に学んでみませんか。皆様のご参加をお待ちしています。

モデル紹介



海斗 Kaito

人体描画表現に特化した画塾であるアトリエROJUE(京都)総合プロデューサー。
美術解剖学会(東京藝術大学内)会員。
写真集「Jamale」を欧州にて2008年に発表、日本では東京都写真美術館(東京・恵比寿)に所蔵。



AYAME

九州鹿児島を中心に積極的に活動する美術モデル。
しなやかな肢体と高技能のポージングが魅力です。

カリキュラム

午前の部：9:30～12:30
美術解剖学講座 テーマ「男女の性差」

午後の部：13:30～16:30
講座の内容を踏まえたヌードクロッキー会

開催日時

2018.7.16(祝月)
9:30～16:30(開場9:00 昼食休憩1時間を含みます)

参加料金&定員

1部のみ：4,000円(学生：3,000円)
2部通し：7,000円(学生：5,000円)
定員：20名(先着順受付、定員になり次第終了)

持参物

クロッキー用の画材(例：クロッキー帳、スケッチブック、筆記用具等)
※どんな画材を持っていくかわかれる方は、メールでお気軽にご相談下さい。

※当日は、会場での画材レンタルはありません。必ず上記画材を持参頂きますようお願い致します。

お問合せ&お申込み

kyushu.rojue.organizer@gmail.com

※ご氏名、参加希望の日、参加区分(一般・学生)をお伝え下さい。

「モデル海斗」のHPにも詳細が出ています。
<http://artmodel-hiro.com/>



開催場所

かごしま県民交流センター 5F 絵画制作室
〒892-0816
鹿児島市山下町14-50
※鹿児島市電「水族館口電停」より徒歩4分

詳細地図

